

特別公開

松村梅岡ほか作《佐野十二詠》(朝日森天満宮所蔵)

公開期間等

展覧会名：収蔵企画展「風を聴き、水と暮らす」

会場：佐野市立吉澤記念美術館 会期：2020年6月2日(火)～7月5日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期が変更になる場合があります。

作品について

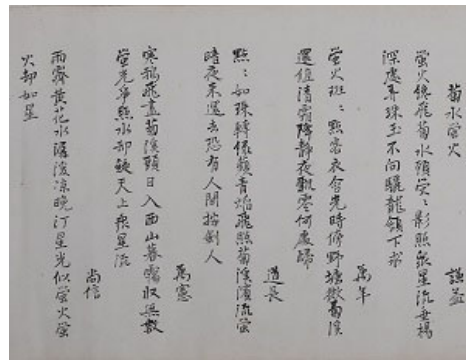
- ①・江戸で活躍した漢詩人・松村梅岡と佐野の門人たちによる漢詩集(巻物)
  - ・絵画1図と漢詩84篇で、当時の佐野の景色の魅力をうたい上げている
  - ・制作年：安永9年(1780)制作・奉納。※江戸時代中期
  - ・材質技法：紙本淡彩・墨書、一卷
- ③作品図版



「佐野十二勝図」全体



(左)「佐野十二勝図」部分 ※越名沼か



(右) 漢詩部分

⑤松村梅岡(延年)について：

宝永7年(1710)生まれ、天明4年(1784)75歳で没。江戸時代中期の儒者。江戸で活動したが、《梅岡詩冊》(同天満宮所蔵)の箱書から、「家祖が佐野出身」ということが判明した。

⑥作品の位置づけ：

- ・当時の佐野の文化的水準の高さを示す。
- ・例幣使の参拝が定例化し、また中根東里撰「菅神廟碑」が建立(天明7年<1787>)されるなど、江戸時代中期における朝日森天満宮への注目の高まりを示す重要な作例として、歴史的に貴重。
- ・「阿曾沼」「三轟山」など、佐野の名勝は個別的に詠われてきたが、佐野の魅力を総合的にうたいあげた文学作品としては希少な作例。

## 佐野市立吉澤記念美術館

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30

<https://www.city.sano.lg.jp/sp/yoshizawakinembijutsukan/>

電話：0283-86-2008 FAX：0283-84-3655

※新型コロナウイルス対策で休館となる場合があるため、ご来館前にHPやお電話でご確認ください。